

**中学校社会科3分野の連携**

カリキュラム・マネジメントの観点からも、地理・歴史・公民の各分野の学びは単独ではなく、それらが一体となった社会科の学びとしてとらえられます。毎時間ごとに、左ページ下に設けた「**関連コーナー**」では、3分野で連携が図られ、多くの学習が公民につながっていることに生徒が気づき、本時の学習がより深まります。

**地理、歴史、そして公民へ**

公民の学習は、これまでに学んできたことをふまえた「**社会科学の集大成**」となります。そのため、地理や歴史で学んだ事柄を活用することも大いにあります。  
地理では、地球の各地域について学び、各地域の人々の暮らしの特徴や抱えている課題について学習しました。社会を、**空間的に理解**する方法を身につけてきました。歴史では、時代の推移や変遷、人物・できごととの関係などについて

学び、それぞれの歴史的意義について学習しました。社会を、**時間的に理解**する方法を身につけてきました。社会を空間的に、あるいは時間的にとらえていくことは、現代の社会を考えるうえでとても大切です。そして、地理、歴史、公民で学んだ知識や情報を活用し、**持続可能な未来のあり方**について自分なりに考え、深めていくようなことを目標に、学習を進めていきますよ。

関連 **小学校** 地域で受けつがれてきたもの(4年)/**地理** 日本の地域構成/**歴史** 中世・現代の文化ほか

◀ p.11下

▶ p.22下

**▼ 歴史 p.178**

**1 アテネの古代文明**  
アテネの古代文明は、民主政治の発祥地として知られています。公民の政治参加が特徴です。

**2 エジプトの古代文明**  
エジプトの古代文明は、ピラミッドや象徴的な芸術で知られています。

**3 古代ローマの政治**  
古代ローマは共和政から帝政へと発展しました。

**4 すべての道はローマに通ず**  
ローマの文化は、ヨーロッパに広まりました。

**5 エジプトの文明**  
エジプトの文明は、尼羅河の恵みによって発展しました。

**6 古代ローマの政治**  
古代ローマの政治は、共和政から帝政へと変遷しました。

**7 古代ローマの政治**  
古代ローマの政治は、共和政から帝政へと変遷しました。

**8 古代ローマの政治**  
古代ローマの政治は、共和政から帝政へと変遷しました。

▲ 歴史 p.26

**1 民主政治と日本の政治**

**1 民主政治ってなんだろ?**  
民主主義とは、一人一票の政治です。

**2 自由民権論の演説**  
リンカーンの演説は、民主主義の重要性を説きました。

**3 選挙の仕組み**  
選挙は、国民が政治家を選出する仕組みです。

**4 議院政治の仕組み**  
議院は、法律を制定する機関です。

**5 議院政治の仕組み**  
議院は、法律を制定する機関です。

**6 議院政治の仕組み**  
議院は、法律を制定する機関です。

**7 議院政治の仕組み**  
議院は、法律を制定する機関です。

**8 議院政治の仕組み**  
議院は、法律を制定する機関です。

▲ 歴史 p.84

**1 日本の人口分布**  
日本の人口は、東部平野に集中しています。

**2 三大都市圏への人口集中**  
東京、大阪、名古屋の三大都市圏に人口が集中しています。

**3 人口分布の地域差**  
都市部と農村部の人口密度に大きな差があります。

**4 人口分布の地域差**  
都市部と農村部の人口密度に大きな差があります。

**5 人口分布の地域差**  
都市部と農村部の人口密度に大きな差があります。

**6 人口分布の地域差**  
都市部と農村部の人口密度に大きな差があります。

**7 人口分布の地域差**  
都市部と農村部の人口密度に大きな差があります。

**8 人口分布の地域差**  
都市部と農村部の人口密度に大きな差があります。

▲ 地理 p.164

**1 変りゆく地域社会**  
少子高齢化が進む中で、地域社会は大きく変わっています。

**2 合併による町界の変化**  
市町村合併により、町界が大きく変わりました。

**3 合併しないことを選んだ自治体の現状**  
合併しない自治体は、独自の課題を抱えています。

**4 合併しないことを選んだ自治体の現状**  
合併しない自治体は、独自の課題を抱えています。

**5 合併しないことを選んだ自治体の現状**  
合併しない自治体は、独自の課題を抱えています。

**6 合併しないことを選んだ自治体の現状**  
合併しない自治体は、独自の課題を抱えています。

**7 合併しないことを選んだ自治体の現状**  
合併しない自治体は、独自の課題を抱えています。

**8 合併しないことを選んだ自治体の現状**  
合併しない自治体は、独自の課題を抱えています。

▲ p.120

**3分野の視点から取り上げる「防災」**

例えば、近年、特に関心が高まる防災の学習についても、地理的分野では、「**地域調査の方法を学ぼう**」や「**災害から身を守るために**」など豊富に扱い、歴史的分野では、「**関東大震災からの復興**」を現代につながる都市づくりと結びつけながら、多面的に扱います。  
公民的分野では、「**東日本大震災からの復興・伝承**」に取り組む中学生の姿 (p.24) や、震災と関連づけて「**これからの資源・エネルギー**」(p.218-219) について考え、防災への意識やこれからのあり方を、公民的分野の視点で深めていくことができます。

**▼ 地理 p.142-143**

**1 地域の防災について調べる**  
地域の防災計画を確認し、防災意識を高めます。

**2 地域の防災について調べる**  
地域の防災計画を確認し、防災意識を高めます。

**3 地域の防災について調べる**  
地域の防災計画を確認し、防災意識を高めます。

**4 地域の防災について調べる**  
地域の防災計画を確認し、防災意識を高めます。

**5 地域の防災について調べる**  
地域の防災計画を確認し、防災意識を高めます。

**6 地域の防災について調べる**  
地域の防災計画を確認し、防災意識を高めます。

**7 地域の防災について調べる**  
地域の防災計画を確認し、防災意識を高めます。

**8 地域の防災について調べる**  
地域の防災計画を確認し、防災意識を高めます。

地理

**1 後継新平と杉原千敏**  
杉原千敏は、ユダヤ人の脱出を支援した英雄です。

**2 関東大震災と復興新平**  
関東大震災からの復興は、都市づくりの転機となりました。

**3 復興新平と杉原千敏**  
杉原千敏は、ユダヤ人の脱出を支援した英雄です。

**4 復興新平と杉原千敏**  
杉原千敏は、ユダヤ人の脱出を支援した英雄です。

**5 復興新平と杉原千敏**  
杉原千敏は、ユダヤ人の脱出を支援した英雄です。

**6 復興新平と杉原千敏**  
杉原千敏は、ユダヤ人の脱出を支援した英雄です。

**7 復興新平と杉原千敏**  
杉原千敏は、ユダヤ人の脱出を支援した英雄です。

**8 復興新平と杉原千敏**  
杉原千敏は、ユダヤ人の脱出を支援した英雄です。

▲ 歴史 p.238

**1 歴史の窓 関東大震災**  
1923年9月1日、関東地方を大震災が襲いました。

**2 歴史の窓 関東大震災**  
1923年9月1日、関東地方を大震災が襲いました。

**3 歴史の窓 関東大震災**  
1923年9月1日、関東地方を大震災が襲いました。

**4 歴史の窓 関東大震災**  
1923年9月1日、関東地方を大震災が襲いました。

**5 歴史の窓 関東大震災**  
1923年9月1日、関東地方を大震災が襲いました。

**6 歴史の窓 関東大震災**  
1923年9月1日、関東地方を大震災が襲いました。

**7 歴史の窓 関東大震災**  
1923年9月1日、関東地方を大震災が襲いました。

**8 歴史の窓 関東大震災**  
1923年9月1日、関東地方を大震災が襲いました。

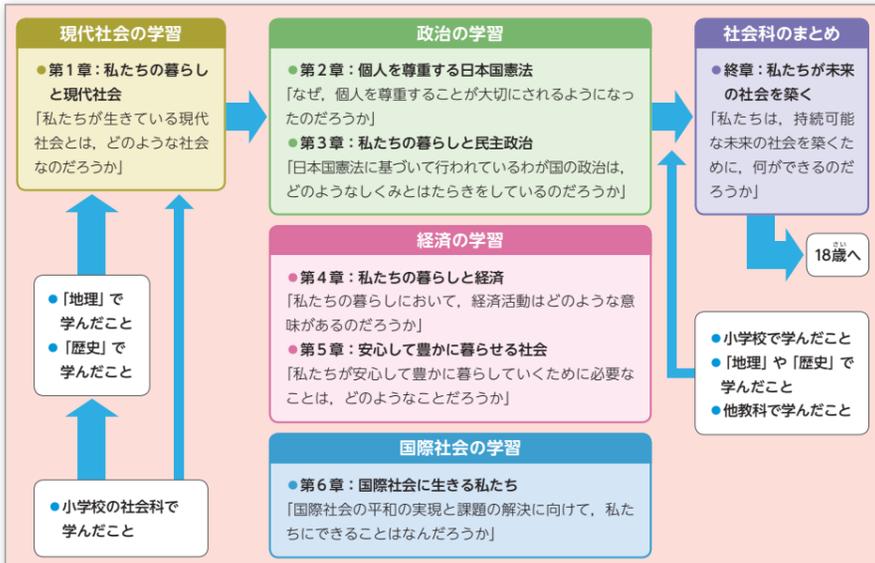
▲ 歴史 p.225

公民

▲ p.218-219

## 2 小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した内容・構成

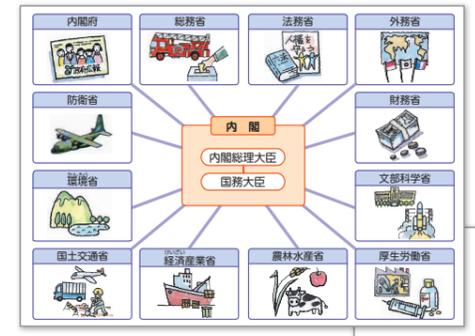
3分野とも、小学校社会科の学習を振り返る部分を設けることで、小学校の社会科からの円滑な接続を意識しています。高等学校へのつながりでは、中学校で身につけなければならない知識・技能がそれぞれ確実に定着できることで、スムーズな接続を図る教科書になっています。



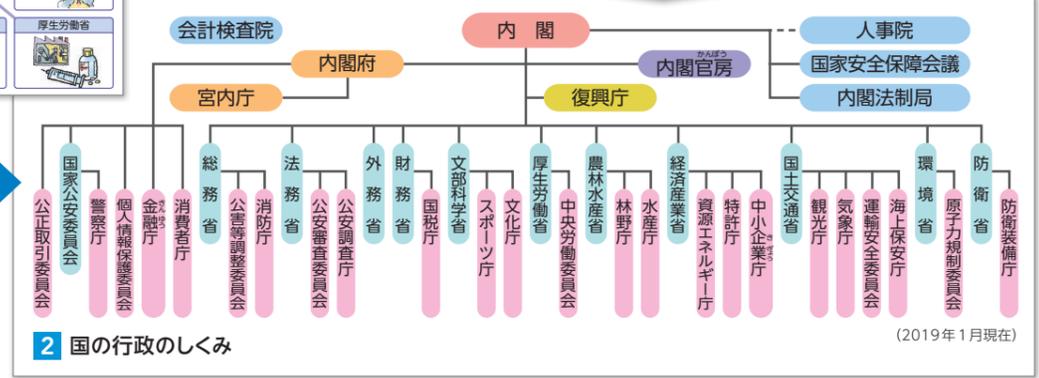
### 小学社会から中学社会への、よりスムーズな連携

巻頭Ⅲに「公民で学ぶ主な内容と学習の見通し」を掲載し、新しく始まる公民の学習を前に、小学校の学習、他分野、他教科の学習との関連や、「18歳」へとつながっていく「公民学習の全体像」を示しました。生徒が学びの接続をわかりやすくとらえ、意識することができます。

▲ p.Ⅲ上



▲ 小学6年 p.24



▼ p.48下

▲ p.100

各時間の左ページ下「関連」コーナーでは、各時間の学習内容と関連する、小学校、他分野、他教科の学習を紹介しています。

- 関連 小学校 基本的人権の尊重(6年) / 地理 日本の地域構成(北海道) / 歴史 近世～現代
- 関連 小学校 暮らしと電気(4年) / 国土の自然(5年) / 地理 世界と日本の資源・エネルギー / 家庭科 環境に配慮した消費 / 理科 資源・エネルギー

▲ p.218下

### 公民にアプローチ ～メディアを活用しよう

インターネットやスマートフォンが普及していったころに比べ、情報入手手段は多様化しています。これからの公民の学習においても、それぞれの長所と短所をふまえて、複数のメディアを活用していくことが必要です。

**各種メディアの特色を整理しよう**

**インターネット**

- 幅広く情報を収集しやすい。
- 情報伝達のスピードが速い。
- 災害時でも比較的つながりやすく、緊急時の情報の収集・発信に役立つ。

**テレビ**

- 視覚と聴覚に訴えるので、情報伝達力に優れ、インパクトが大きい。
- 広い範囲に、情報を同時に伝えることができる。

**雑誌・書籍**

- あるテーマや問題について、詳しい情報を得ることができる。
- 発行から時間がたつにつれ、書かれている内容やデータが古くなっていく。

**新聞**

- 街の中で配られる外(2018年 大阪府大阪市) 週刊の朝刊や夕刊には突如、選挙の時刻は数えきれない。
- 専門の記者が取材、執筆しているので情報が詳しく、信頼性が高い。
- 情報伝達にやや時間がかかる。誤植があった場合、訂正のお知らせにも時間がかかる。

**学習での活用方法を考えてみよう**

どのメディアを使う場合でも、情報源は信頼性があるかどうかを慎重に確認する必要があります。情報の真偽や意図を見きわめ、適切に選び取る力(メディアリテラシー)を身につけることが大切です。

また、情報収集の過程では、必要な情報がすぐに見つからない場合もあります。まずは、図書館やインターネットで幅広く検索し、いくつかの資料や記事を概観し、みてみるのが大切です。その中から、各メディアの特色を考慮しつつ、必要な情報を選びましょう。

**特性ごとにメディアを比べてみよう ～新聞とテレビの例**

- 【一貫性】→新聞→テレビ  
新聞の朝刊には、約20万字(新書で約2冊分)が印刷されています。多くの記事を短時間で閲覧できることが、新聞の魅力の一つです。
- 【信頼性】→新聞→テレビ  
新聞は多くの情報源がありながら、朝刊でも約200g(薄い新書で1冊分)と軽く、たまたばコンパクトになり持ち運びしやすいです。
- 【保存性】→新聞→テレビ  
新聞は、必要な記事を取り抜いて保存することが簡単です。切り抜き記事を整理しておけば、情報を取り出しやすくなります。
- 【即時性】→新聞→テレビ  
事故や事件の現場から中継で伝えるなど、テレビは現在のことリアルタイムで伝えられます。一方、新聞でも、重大なできごとが起きた場合には「号外」を発行し、人通りの多い場所です。

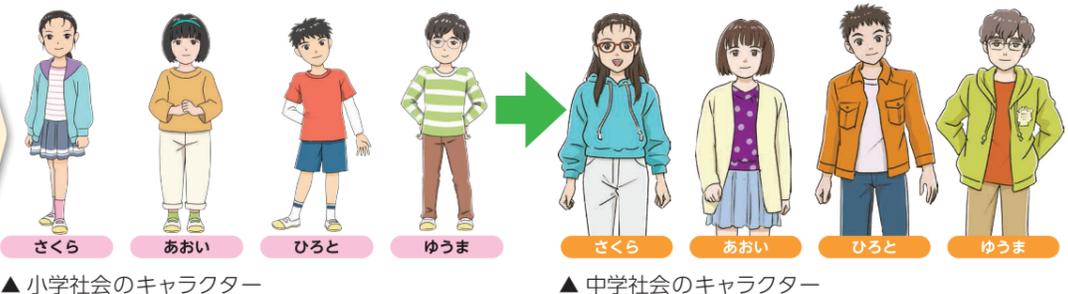
実際にメディアから情報を読み取ってみよう!

▲ p.6-7

### 「公民にアプローチ～メディアを活用しよう」

公民の学習全般にわたって必要となる、「情報収集と活用」を特集しています。小学校5年生の情報単元での学習を復習しながら、インターネットや新聞など各メディアの特色を具体的に振り返って学べます。

教育出版「小学社会」のキャラクターが中学生に成長した姿で紙面に登場します。共に学び合う意識が連続するように工夫しています。



### 3 持続可能な未来への対話

対話によって未来を描こう

学習目標 2 私の提案「自分を変える、社会を変える」をもとに行動を通じて、さらにどのような未来を描くことができるでしょうか。

1 「未来への対話」の手順

① 個人(私の側)としての作品づくり  
② 3人1組(聞き手・話し手・記録者)によるお互いのインタビュー  
③ 3人の「自分」にとっての持続可能な未来と対話によって共有

2 「インタビュー」の展開

① インタビューの展開  
② インタビューの展開  
③ インタビューの展開

3 持続可能な未来への対話を通じて、お互いの共通点や相違点がわかり、思いや行動へ

### 中学から、高校へ

終章では、SDGsの視点から「社会科のまとめ」として作成した作品をもとに、卒業後も他者との対話を続けていく必要性を記しています。主権者としてこれから社会に関わっていくための意識を、実際に他者と協働する中で高めていくことで、**公民的資質**をさらに培う高校での「公共」の学習へとつなぐ準備になります。

▲ p.234

### 3 自ら学ぶ力を支える紙面・内容の工夫

すべての生徒にとって使いやすく、自ら学びに向かう力を喚起するさまざまな工夫を施しており、グループでの学習はもちろん、一人でも学びを深めることができる教科書です。

#### 読んで身につくしくみ・制度の解説

本時ページで、特に社会のしくみや制度について解説する場面では、これまでの経緯や背景、関連する最新の情報などを、本文や資料解説なども合わせてわかりやすく丁寧に記述しています。



#### 公民の技

**給付と負担のこれらをセルフディベートで考えよう**

下の図は、各国の社会保障費の給付と負担の割合を比較したものです。給付の割合は、国内総生産(GDP)に対する社会保障の部門別割合です。負担の割合も、公費や個人負担の割合を指します。

国	給付の割合 (%)	負担の割合 (%)
日本	31.7%	18.1%
フランス	32.4%	27.8%
ドイツ	30.6%	26.2%
アメリカ	15.4%	10.3%
日本(高齢者)	22.0%	18.9%

セルフディベートの議題  
「日本も支給額を増やせるべきである。保険料を減らして社会保険を充実させるべきである。是非討論し、自分の考えを述べよう。」

p.174-175

#### 3 社会保障の維持のために 少子高齢社会への取り組み

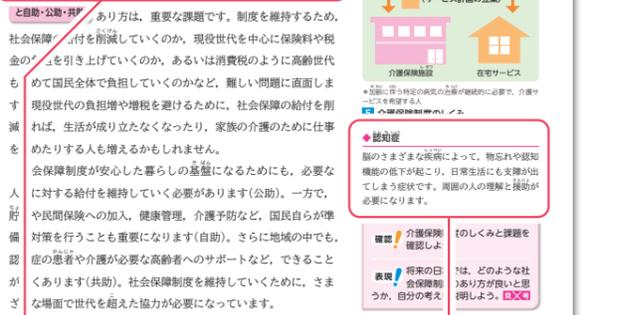
学習課題？ 現在の超高齢・人口減少社会は、社会保障制度にどのような影響を与えているのでしょうか。

**人口構造の変化**  
日本の総人口は、2010年以降、減少が続いています。1970年代の半ばからは、合計特殊出生率が低い水準のまま少子化が進んで、今後もこの傾向が続けば人口減少はより深刻になります。一方で、平均寿命は伸びて、高齢者の数は増えています。高齢者が増加し、子どもや働き盛りの現役世代が減少するため、高齢者がいっそう増えます。

**少子高齢社会は、社会保障制度に大きな影響を与えます。**  
年金保険、医療保険、介護保険は、いずれも高齢者が多くの給付を受け、保険料や税金などの負担は、収入のある現役世代が担います。給付を受ける人が増加し、負担する人が減少することになるので、社会保障制度の財政はとも不安定になります。

**高齢化と医療保険や介護保険**  
じょうぶな体をもつ人も、年齢とともに健康状態は低下していきます。高齢社会では、病気にかかる人や日常生活を送るうえで介護を必要とする人が増え、治療のための医療費や医療保険からの支出が増加します。また、介護が必要な人を支えるために、介護保険制度があります。介護保険料は、保険料と税金を財源として、介護が必要な人に介護サービスを提供する制度です。高齢者の増加により介護サービス

を必要とする人も増え、そのサービスをなう労働者の確保や、介護保険の財政の維持が問題になっています。また、認知症をわずらう高齢者の増加も予想され、家族だけで支えることが困難な場合、社会全体でどのように支えていくのかも、大きな課題です。



**認知症**  
脳さまざまな疾病によって、物忘れや認知機能の低下が起こり、日常生活にも支障が出てしまう症状です。周囲の人の理解と援助が必要になります。

「社会保障」や「介護保険」が必要となった背景や経緯を、丁寧に解説しています。

直近の課題にも触れながら記述し、側注の語句【◆】でも解説します。

本時ページ以外にも、生徒の興味・関心を引きつける豊富な写真・図版などからなる資料ページがあります。これらを活用することで、さらに公民の学習を深めることができます。

**持続可能な未来を目指す人々**

JICA(国際協力機構)で働く人々のメッセージ  
アフリカでの事業に携わる平岡謙三(たけのこ)

**学習資料編**

日本国憲法	236	用語解説	256
日本国憲法(解説)	236	用語解説(解説)	256
日本国憲法(解説)	236	用語解説(解説)	256

**用語解説**

第1章  
第2章

p.236

**用語解説**

第1章  
第2章

p.256

#### 巻末「学習資料編」の憲法・法令集と充実の用語解説

本時の関連する箇所からすぐに参照できるよう、巻末に解説付きの「日本国憲法」の全文と、主要な「法令」を数多く掲載しています。

難解な用語や補足説明が必要な事項には、丁寧な「用語解説」を掲載し、一人一人の確かな学びをサポートします。

p.81

#### インターネットを活用して学びを広げることができる「まなびリンク」

各章の扉ページに「まなびリンク」を設けました。教育出版のウェブサイトから、学習に役立つさまざまな情報にアクセスすることができます。※無料で利用できますが、通信料がかかります。また、端末の操作やインターネットの利用のルール、情報リテラシーについては適宜ご指導ください。

**【中学社会】まなびリンク**

地理、歴史、公民

中学社会 公民 ともに生きる

第1章 民主主義の発展と市民社会  
第2章 憲法と政治制度  
第3章 政治参加と政治意識  
第4章 政治参加の促進

p.88上

実際の投票率は、どうなのかな。  
例えば、キャラクターの吹き出しには、読みやすい改行の工夫を取り入れています。

**特別支援やユニバーサルデザインの視点を大切にした教科書づくり**  
教育のユニバーサルデザインの実現にむけ、埼玉大学の名越斉子先生に社会科全体を監修していただきました。より多くの生徒が学びやすいように、レイアウトや配色、書体などの表現を工夫しています。

**第3章 私たちの暮らしと民主政治**

私たちの暮らしと民主政治

選挙のしくみ

選挙のしくみ

**まなびリンク**

学習に役立つさまざまな情報を、ウェブサイトで見ることができます。

https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh/komin.html#03

**CUD '19**

図やグラフなど、教科書中の表現には、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れています。

**UD FONT**

本文や注など、教科書中の文章には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。